



南条つ子

南条小学校だより

南条つ子は 進んで学ぶ子

R1.11.27

No.75

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ なかひま 合同学習会

11月22日(金)、なかよし・ひまわり学級の児童が、南越特別支援学校に出かけ、郡内の小中学生と南越特別支援学校の友達とグループごとに別れて、交流してきました。こうした交流活動が年に数回あるので、いろいろな学校に顔見知りの友達がどんどん増え、会うのが楽しみにもなっているようです。



○ 2年2組 道徳

11月25日(月)、南条郡内の新採用教諭を代表して、道徳の授業が行われました。校内研究会も兼ねており、30名程の参観者に見られながらも、子どもたちは、「親切にするって、どうすることだろう?」について一生懸命に考えていました。親切にした相手が喜んでくれると、自分もうれしい気持ちになります。相手の気持ちを考えた親切をたくさんできると良いですね。



○ 5、6年生 紙芝居読み聞かせ

11月26日(火)、ブックマザーズのお話部の方による紙芝居『こどもたちの福井空襲』がありました。児童はいつも以上に集中して聞き入るとともに、空襲で逃げ惑う様子や一家離散する様子などから、「悲惨な戦争が二度と起こってはいけない」という思いを強くしました。



保護の女兒、監禁男と「SNSで連絡」

<24日(日)のニュースより> この事件に関するいろいろな記事をまとめてあります。

17日から行方が分からなくなっていた大阪の小学6年生の女兒が自宅から約430キロ離れた栃木県内で発見、保護された。また、15歳くらいの別の女の子も発見され保護された。

女兒と容疑者の2人が知り合ったのは11月10日頃、SNSのやりとりを通じてだった。17日に女兒が行方不明になる2、3日前に会う約束をして、17日午前中に女兒の自宅近くの公園に容疑者が現れて落ちあった。電車で栃木県まで移動したようだ。女兒は容疑者からの呼び出しに応じた理由を、「もう一人、女の子がいるので、オンラインゲームや話し相手になってくれないかと言われた」と話しているという。

<25日(月)のニュースより 追加>

未成年者誘拐容疑で逮捕された容疑者が、逮捕前の調べに、「会員制交流サイト(SNS)で助けを求めている子を助けてあげた。正しいことをした。」との趣旨の説明をしていたことが分かった。女兒は行方が分からなくなる前、周囲に「家も学校も嫌」と漏らしていたとされる。容疑者はSNSを通じて知り合った女兒の悩みを利用して誘い出した可能性があるが、具体的なやりとりは明らかになっておらず、動機について調べを進める。

→容疑者は、女兒のスマホを取り上げ、SIMカードを抜き、電源を切ったり、くつを取り上げたり、銃弾のような物を見せたりしています。仮に女兒の同意があったとしても、未成年の子どもを、保護者の許可無く宿泊させている時点で、未成年者の略取・誘拐という罪になります。

会員制交流サイト(SNS)などインターネットでの出会いをきっかけにした犯罪は増加傾向にあり、未成年の女性らが被害に遭うケースが相次いでいる。警察庁によると、29年にSNSを介して犯罪被害に遭った18歳未満は1813人で、5年連続で過去最多を更新。相手と会って被害に遭ったのは1468人と約8割に上る。会った理由では「金品目的」が435人(29.6%)と最多。「優しかった、相談にのってくれた」が336人(22.9%)、「交遊目的」が249人(17.0%)と続いた。

～このニュースに関するある保護者の書き込み～

〇〇〇〇(ゲーム名)は、16歳以上が対象であるが、それ以下の子供もしているのが現状。フレンドになれば個人的なメッセージのやりとりが出来、LINEのID、電話番号のやりとりも安易にできる。そこにも大いに問題がある。親である以上、子供がどんなゲームをしているか、LINEでどんなやり取りをしているかチェックは必要。娘にもSNSやTIK TOKの投稿も安易にするなど話している。なぜか、という理由も含めてちゃんと説明している。スマホで多額なお金が動き、危険も多いからこそ、親は子供にスマホを渡す時覚悟が必要だと思う。私は、スマホ代を親が払っている以上、スマホの利用は親の管理下にあると思っており、時間制限、アプリダウンロードは親が確認してから行っている。

今回は悲惨な結果になる前に助かりましたが、このような事件が後を絶ちません。お子様がこのような事件に巻き込まれないようにするためにも、スマホなどの利用の仕方について今一度見直すとともに、危険性について話し合い、責任をもって管理、指導をしていただきたいと思います。